【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公開番号】特開2017-104237(P2017-104237A)
【公開日】平成29年6月15日(2017.6.15)
【年通号数】公開・登録公報2017-022
【出願番号】特願2015-239578(P2015-239578)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月4日(2018.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の入球口に対する遊技球の入球をそれぞれ検知して、複数の前記入球口に係る入球信号をそれぞれ発信する入球センサと、
複数の前記入球センサと接続されており前記入球信号をそれぞれ受信可能である制御手段と、
前記制御手段と接続された記憶手段
を備えているとともに、
前記記憶手段には、前記入球センサの種別を示すセンサ種別情報として、アウト口に係る前記入球センサであることを含む第１のセンサ種別情報と、賞品球を払い出す入賞口に係る入球センサであることを含む第２のセンサ種別情報とが少なくとも設定可能で、
前記制御手段には、複数の前記入球センサに対する前記センサ種別情報の対応付けが異なる複数種類の前記記憶手段のうちの何れか１つの前記記憶手段が接続されており、
前記制御手段は、前記入球信号を受信すると、当該入球信号に係る前記入球センサに対応する前記センサ種別情報に基づいて、前記入球信号の受信に係る制御を行う
ことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
複数の前記入球口が、一体の入球部材に配置されている
ことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記第２の目的を主に達成するために、請求項１に記載の発明は、複数の入球口に対する遊技球の入球をそれぞれ検知して、複数の前記入球口に係る入球信号をそれぞれ発信する入球センサと、複数の前記入球センサと接続されており前記入球信号をそれぞれ受信可能である制御手段と、前記制御手段と接続された記憶手段を備えているとともに、前記記憶手段には、前記入球センサの種別を示すセンサ種別情報として、アウト口に係る前記入

球センサであることを含む第１のセンサ種別情報と、賞品球を払い出す入賞口に係る入球センサであることを含む第２のセンサ種別情報とが少なくとも設定可能で、前記制御手段には、複数の前記入球センサに対する前記センサ種別情報の対応付けが異なる複数種類の前記記憶手段のうちの何れか１つの前記記憶手段が接続されており、前記制御手段は、前記入球信号を受信すると、当該入球信号に係る前記入球センサに対応する前記センサ種別情報に基づいて、前記入球信号の受信に係る制御を行うことを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

なお、上記請求項１又は請求項２に記載の発明にあって、前記入球センサの種別として、前記入球信号の発信に基づき図柄表示部における図柄の変動が行われる始動入賞口に係る入球センサ、前記入球信号の発信に基づき賞品球を払い出す入賞口に係る入球センサ、及び何れの入賞口にも入賞されなかったものとして前記遊技球が入球により回収されるアウト口に係る入球センサのうちの少なくとも何れかが含まれるという第１の構成を採用することも考えられる。